

『スルース～探偵～』[2021.2.10～11]

最後、気づいたら口を開けていました。びっくりして。本当にボカーンするんだ、と思いました。そのくらい舞台の中に引き込まれました。(30代/新潟市外)



新潟公演があることにヤッターと叫んで、今日を心待ちにしていました。ヒリヒリ、ドキドキ、どんでん返し。本物の生芝居を目の前で観られて幸せでした。(50代/新潟市)

能楽堂で楽しむ雛まつり [2021.2.23]

雛まつりらしい、やわらかで華やか優雅なお雛子で、お城の能舞台を見ているようでした。面をかけるところまで見せていただいて、びっくりしました。(50代/住所不明)



説明が分かりやすく良かったです。鼓の音が心地よく、邪気を払ってくれそうです。とても美しいものに触れることができました。春が近づいた気がします。(50代/新潟市外)

新潟市ジュニア音楽教室
第17回スプリングコンサート [2021.3.28]

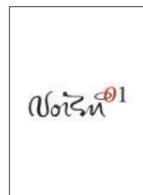
久しぶりに子供達の演奏が聴けると思い、開演前から胸がいっぱいでしたが、演奏を聴き、さらに胸がいっぱいになりました。素晴らしいかったです。(40代/新潟市)



厳しい状況の中、また練習も限られていたであろう中、よく頑張ったんだと胸打たれるものがありました。励まされました。(50代/新潟市)

Noism1メンバー振付公演 [2021.3.27～28]

BSNの特番を見て、同じ新潟で活躍するNoismを生で観たいと思い、来させてくださいました。ダンスの全くわからない私もとても感動しました。(30代/新潟市外)



7つの作品すべてよかった。並べて鑑賞することでそれぞれ個性が際立ち、楽しむことができました。またこういう機会があればと思います。(50代/新潟市外)

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

1 悠久の響き「聲明」～大般若転読会～



公演日
10月2日(土) 15:00
会場:コンサートホール

抽選で
ペア2組4名様

2 秋の能楽鑑賞会(宝生流)



公演日
10月9日(土) 13:30
会場:能楽堂

抽選で
ペア2組4名様

3 オペラシアターこんにゃく座
オペラ『ロはロボットの口』



公演日
11月28日(日) 13:30
会場:劇場

抽選で
ペア2組4名様

応募方法:(1)ご希望の公演名(2)〒住所(3)氏名(4)年齢(5)電話番号(6)本誌を入手した場所(7)本誌へのご意見・ご感想を記入の上、はがきかE-mailでご応募ください。
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.65プレゼント係」present@ryutopia.or.jp
応募者の中から抽選し、当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。2021年8月31日(火)必着

お問い合わせ 休館日:毎月第2・第4月曜日、年末年始(12/29～1/3)
※祝日の場合はその翌日

■館内案内・プレイガイド	TEL.025-224-5622(11:00～19:00)
■チケット専用ダイヤル	TEL.025-224-5521(11:00～19:00)
■施設利用お問い合わせ	TEL.025-224-5621(9:30～18:00)
■N-PAC mate友の会事務局	TEL.025-224-5631(平日 10:00～18:00)
■事業企画部	TEL.025-224-7000(平日 10:00～18:00)
■新潟県民会館	TEL.025-228-4481
■音楽文化会館	TEL.025-224-5811

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあ・音楽文化会館・新潟県民会館の他にも下記にて無料配布しています。

新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとぴあ、マリニピア日本海、ほんぼーと、新潟市美術館、新津美術館、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アピール館、新潟県立図書館、長岡リリックホール、魚沼市小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など
「りゅーとぴあマガジン」に関するお問い合わせは事業企画部 広報営業課まで次号vol.66は2021年10月1日発行予定です。

新潟市芸術文化振興財団はりゅーとぴあ・音楽文化会館・新潟県民会館を一体的に管理しています。

編集後記

ホールスポンサーになってくださる企業が少しずつ増えてきました。コロナ禍で誰もが大変なはずなのに、それでも当館を応援しようという方がいることに、感謝せずにはいられません。「りゅーとぴあの取り組みを知るうちに応援したくなった」「こんな時だからこそ頑張ってほしい」と励まされ、ますます背筋が伸びる思いです。お預かりしたご支援は子どもたちの芸術文化活動や、東響新潟定期演奏会、鑑賞事業全般のために、ありがたく活用させていただいております。(T)



りゅーとぴあホールスポンサー(敬称略 50音順)



Ryutopia Magazine 2021 Summer vol.65 2021年7月1日発行

発行:りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2(白山公園内)
編集:りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 制作:株式会社 新交企画
デザイン:株式会社 U-STYLE 印刷:島津印刷株式会社



その先の感動へ

りゅーとぴあの小さな美術館「INFO BOX」

Known as "Ryutopia," the Niigata City Performing Arts Center was founded in October 1998 as the hub of performing arts, offering a varied range of music, theater, dance, and traditional Japanese Noh

plays from the heart of Niigata City. The performance halls boast superb facilities and expert theatrical stage staff, promising an exceptional artistic experience to visitors and users

alike. Ryutopia aims to be an art venue that meets the expectations of both audience and performers, while contributing to the appreciation of the performing arts.

vol. 65

2021 Summer



Life with Performing Arts

ニコラのように苦しむ人が、 少しでも前を向いて 踏み出せる舞台にしたい。

思春期の息子ニコラと、離婚後に新しい家族と暮らす父ビエールとの葛藤を描いた『Le Fils 息子』。フランスの若手劇作家フロリアン・ゼレール作のこの舞台は、2018年のパリ初演以来、世界13ヵ国で上演され絶賛を博している。ニコラを演じる岡本圭人さんに、ビエール役で実父でもある岡本健一さんとの共演を含め、作品について語ってもらった。

岡本圭人 OKAMOTO Keito

1993年、東京都出身。2007年「Hey! Say! JUMP」のメンバーとしてCDデビュー。2018年から2年間、アメリカ最古の名門演劇学校「アメリカン・アカデミー・オブ・ドラマティック・アーツ」のニューヨーク校で学ぶ。本年4月、グループでの活動を終了し、俳優業に専念することを発表。この作品が初のストレートプレイで単独初主演。

取材・文 / 本間千英子
撮影 / 設楽光徳

——台本を読んで最初の印象は。

ニコラにもものすごく共感しました。父親とのコミュニケーションの仕方やリズム、会話についてのリアクションなど、思い当たる部分がたくさんあり、感情移入して、気付いたらいつの間にかセリフを口に出していました。ニコラはとてもデリケートで優しい。自分の言いたいことがうまく言えず、その積み重ねが、さらに困難な状況を招いてしまう。登場人物に悪い人はいなくて、それぞれが思いやっているのにすれ違うのは、ちょっと怖かったですね。

——お父さまとの共演も話題です。

俳優として尊敬し、自分が小さなころから舞台で見ていた人と仕事ができるのは夢のようです。プライベートでは喧嘩したことのない父親と、舞台上で喧嘩するのは挑戦だし、ドキドキします(笑)。母親役の若村麻由美さんをはじめ、他の大先輩方と共に一つの作品を作り上げることは楽しみです。たくさん学ばせていただきたいです。

——役作りはしていますか。

このお話をいただいてから、自分にできることは全てやろうと決意しました。演劇学校で学んだメソッド演劇の中の役作りの方法を実践したり、ニコラの部屋を想像してノートに書き、自分の部屋の1スペースを舞台に設定して、数時間をニコラとして過ごしたり。父が俳優として演技と舞台に真摯に取り組んでいる姿を見て育ちました。誰にも負けないくらい努力しないと父に追いつけません。

——これまで印象に残っている舞台は。

たくさんありますが、父が主演した『リチャード三世』(2012年)は衝撃的でした。父も他の俳優さんも素晴らしかった。上演後に父から台本を借りて読むほど感銘を受けました。演劇学校の入学希望者には3分以内のモノローグの審査があるんですが、『リチャード三世』の父のモノローグを英語にして披露したら合格できました。学校では世界中の俳優さんと知り合えま

したし、ニューヨークという場所のパワーを実感できました。演技やお芝居について多くを学びましたが、何より良かったのは、自分自身としっかり向き合えたことです。演技は出来事や自分についての疑問の答えを探る仕事だと思っていますし、学校に入った当初、先生から「自分を知らなければ、役を演じることはできない」と言われました。留学の最後はロックダウンで何もできない状況。そこでさらに深く自分自身を掘り下げて考えられたことは大きな財産です。

——舞台の魅力はなんでしょう。

目の前で俳優さんが自分の体を使って表現する、「生」であること。緊張するし、不安もありますが、今回のニコラは常に緊張している人でもあるので、周囲に対しての緊張をうまく役として表現できたらいいですね。

——リゅーとびあ劇場は初めてですね。

はい。サイトを見ましたが、白山公園や空中庭園など自然が豊かな場所で、散歩したら気持ち良さそうですね。劇場もきれいで、ここに立ってと思ったらワクワクして、「頑張らなくては」と気合いが入りました。

——どんな舞台にしたいですか。

舞台を見て、家族のコミュニケーションのあり方を考えていただけたらうれしいし、ニコラのように苦しみを抱えた人が、勇気を持って新たな一歩を踏み出せるようになってほしい。人生を考える契機になる作品にできるように、一生懸命、演じさせていただきます。



長富 彩さんロングインタビュー
リゅーとびあブログに掲載中!! ▶



ベートーヴェンは、永遠に遠く、 常にそばにいる存在。

新型コロナウイルス流行という予期せぬ受難に見舞われた、昨年のベートーヴェン生誕250年。しかしベートーヴェンの音楽は本来、人が生死をかけた厳しい状況にある時こそ、最も真価を発揮する貴重な音楽と言えます。近年ますます成熟を深めているピアニスト長富彩による、渾身のベートーヴェン三大ピアノ・ソナタ。9/16(木)、リゅーとびあでお聴きください。

長富 彩 NAGATOMI Aya

2005年、東京音楽大学附属高校を首席で卒業。同年よりハンガリー国立リスト音楽院へ留学。バルトークやリストの研究者で世界的に著名なジョルジュ・ナドルに師事。2008年より米国に拠点を移しての演奏活動を開始。同年、ニュージャージー州・プリンストン大学でのシンポジウムに奨学生として参加し、エドナ・コランスキーにタープマン奏法を学ぶ。2009年、NYCスタンウェイホールにてリサイタルを行い満席となった。これまでに大谷康子(Vn)、ペアンテ・ボーマン(Vc)、上海クァルテット、ウェールズ弦楽四重奏団らと室内楽での共演のほか、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団とピアノ協奏曲を演奏、好評を博している。

撮影 / 井村重人

——コロナ禍はどのようにお過ごしですか。

昨年の春からYouTubeの動画配信に力を入れ始めました。演奏会が次々になくなり、心に溢れる音楽を届ける場がない中で、私なりにできることを伝えたいと思って。実はYouTubeは10年以上前にとても力を入れていて、留学でハンガリーからアメリカに渡ったのも、マネージャーと縁を繋いでくれたのも、きっかけはYouTubeだったんですよ。

——オペラ歌手の父と、ピアニストの母の間に生まれました。

家にはさまざまな音楽が溢れていました。子どもの頃から好きな曲はドヴォルザークのシンフォニーでしたし、父が聴かせてくれたタンゴやマンボでお尻を振って踊っていたそうです(笑)。ピアノは最初から憧れていたわけではなく、幼稚園でバイエルを弾いていた子の周りにたくさんお友達が集まっているのを見て、目立ちたがりで一番でいたかった私は「ピアノを弾けば人気者になれるんだ!」と思い、その

場で母に土下座をして教えるを請いました。

——幼少期から「10年に一人の感性」と評されるなど、非凡な才能をお持ちでした。

「10年に一人…」というのは、小4で師事した御邊典一先生のお言葉ですね。先生は、私を型にはめると感性が消えると考えて、「感性を育てる」方向にしてくださったのです。コンクールに出る代わりに毎年私のリサイタルをするという方針で、小・中学校の頃から自分でプログラムも考えて人前で演奏してきました。今でも、音楽を奏する上で、人生経験や感情を最も大切にしています。大作曲家もたくさん悲劇や喜びの中で音楽を生み出したのですから、たくさんの感情の引き出しなくして表現はできないだろうと思っています。

——さて、9月の新潟公演ではベートーヴェン三大ピアノ・ソナタを演奏されます。長富さんにとってベートーヴェンはどんな存在ですか。

留学先のハンガリーでは、リストや他の作

曲家も学びましたが、何を一番勉強したか、それはベートーヴェンです。ベートーヴェンは楽譜に多くの正解やルールが書いてあり、その中で個性を出すことの不安が当時はありましたが、今ではそれこそがベートーヴェンと向き合う喜びと感じています。

ベートーヴェンにもっともっと近付きたくて、2016年にオール・ベートーヴェン・アルバム*をリリースするにあたり再度ハンガリーの恩師を訪ね、さらに深く学び、ウィーンのベートーヴェンにゆかりのある場所を巡りました。永遠に遠く、そして常にそばにいる。ベートーヴェンはそんな特別な存在です。

——長富さんのベートーヴェンが楽しみです。

私はベートーヴェンのテンポ感にこだわりを持っています。作曲時の彼の感情と、私自身の感情や人生経験に照らしたり、当時の楽器について研究するなど、自分なりに彼に近付こうとしてきました。とりわけ「悲愴」の第2、3楽章はすごく考えた曲ですね。お客様には時代背景を想いながら聴いていただくのも良いですし、何も考えず目を閉じて聴いていただくのも彼の息吹を感じられるかなと思います。ベートーヴェンの耳の聴こえ方がどんな感じだったか、彼の苦しみはどこにあったか、弾き手として最大限研究し音にしていきますので、リサイタルで伝われば嬉しいです。コロナ禍ではありますが、多くの方と会場でお会いできることを楽しみにしています。

*「Aya Nagatomi plays Beethoven」

Information

『Le Fils (ル・フィス) 息子』

【日時】9月29日(水)19:00開演 9月30日(木)12:00開演
【会場】劇場 【出演】岡本圭人、若村麻由美、
【作】フロリアン・ゼレール 伊勢佳世、浜田信也、
【翻訳】齋藤敦子 木山廉彬、岡本健一
【演出】ラディスラス・ショラー
【料金】S席8,800円、A席6,800円、B席6,500円、U25(B席)2,500円
7月10日(土)会員先行発売 7月16日(金)一般発売開始



Information

リゅーとびあ・会員限定コンサート Vol.2 長富 彩 ピアノ・リサイタル

【日時】9月16日(木) 19:00開演
【会場】コンサートホール
【曲目】ベートーヴェン三大ピアノ・ソナタ「悲愴」「月光」「熱情」
【料金】全席指定2,000円

2021年、夏～秋のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は、本誌折込のりゅーとぴあ
カレンダーをご覧ください。

いよいよ開催、りゅーとぴあ会員限定コンサート! 一流の演奏を特別価格で!

〈ご入会手続きはお早めに〉 この公演は、会員(フレンズ会員・インターネット会員)限定コンサートです。お問い合わせは友の会事務局まで
会員以外の方はぜひこの機会に入会を。さまざまな特典をご用意して、お待ちしております! TEL 025-224-5631(平日 10:00~18:00/休館日除く)

チェロの宮田大は「東響新潟定期」第91回に出演し、圧倒的な存在感で聴衆を魅了。また「音の詩人」と称される大萩康司は、りゅーとぴあに度々登場し、新潟におけるファンが多いギタリストです。



大萩康司(ギター)、宮田大(チェロ)

ハンガリー国立リスト音楽院で学び、その後ハンガリーをはじめ、ヨーロッパ、アメリカでリサイタルや室内楽の活動をしている期待の女流ピアニスト。渾身のベートーヴェン三大ピアノ・ソナタをお届けします。



長富彩(ピアノ)

宮田大&大萩康司 デュオ・コンサート
■7.21(水)19:00開演 ■コンサートホール

長富彩 ピアノ・リサイタル
■9.16(木)19:00開演 ■コンサートホール

りゅーとぴあ専属オルガニスト 石丸由佳による
気軽に楽しむパイプオルガンのコンサート

夏休みの思い出にコンサートホールでパイプオルガンの演奏を聴いてみませんか?パイプオルガンによって姿をかえたおなじみのメロディや、どこかで耳にしたことがあるあの有名な曲を目の前で聴くことができます。これまでパイプオルガンの演奏を聴いたことがない人も、何度も聴いてくださっている人も、どちらも楽しめるようなプログラムをご用意しております。迫力あるりゅーとぴあパイプオルガンの音色をお楽しみください。



石丸由佳(オルガン)

オルガン・サマーデイズ2021「1コイン・オルガンコンサート」
■8.4(水)13:00開演 ■コンサートホール

津軽三味線とピアノの卓越したパフォーマンス。
和と洋の唯一無二のコラボレーション!

津軽三味線の第一人者として、新たな可能性を示し続けてきた吉田兄弟。独創的な1台4手連弾「キヤルマンスタイル」で、コンポーザー&ピアニストとして、聴く人の魂を揺さぶる音を生み出してきたレ・フレール。津軽三味線とピアノの卓越したパフォーマンスと、二つの兄弟ユニットが織りなす和と洋の唯一無二のコラボレーションをご覧ください。収益金の一部は小児がん患者・経験者の自立支援活動に寄付されます。



吉田兄弟(津軽三味線)



レ・フレール(ピアノ)

ゴールドリボン・小児がんチャリティ
吉田兄弟/レ・フレール スペシャルコラボコンサート2021
■9.12(日)14:00開演 ■コンサートホール

夏は家族でりゅーとぴあ!親子で観て、聴いて、感動をわかちあおう!

オーケストラが奏でる大迫力の
音のシャワーを全身に浴びよう!

新潟市準フランチャイズ・オーケストラとして年6回の定期演奏会を行っている東京交響楽団による子ども向けのコンサート。フィギュアスケートで注目された「仮面舞踏会」のワルツ、ゲーム音楽の「スーパーマリオブラザーズ」、映画音楽の「パイレーツ・オブ・カリビアン」まで、今年も一度は生で聴いてみたい、かっこよくて、楽しい気分になる曲がてんこ盛り。ホールスタッフのお仕事体験やクイズなどのイベントもあります!



子どものための芸術文化体験事業 オーケストラはキミのともだち
■7.31(土)11:00開演・14:00開演 ■コンサートホール

支えてくれた皆様に、心からの感謝を。
そして新たな感動をお贈りします

今年で誕生20周年を迎えるAPRICOTがこの夏にお贈りするの、宮沢賢治の不朽の名作「銀河鉄道の夜」。貧しい少年ジョバンニと、心優しい同級生のカンパネラが、銀河をめぐる銀河鉄道に乗って旅する幻想的な物語です。家庭環境も性格も違う二人が星めぐり様々なもの出会う中で、「ほんとうの幸い」とは何なのか、問いかげの答えを探します。APRICOTを愛し支えてくださったすべての方へ、そしてこれから新たに会う多くの方へ、心からの感謝と共に「APRICOTの銀河鉄道の夜」をお贈りいたします。



APRICOT2016夏季公演「APRICOTの銀河鉄道の夜」より

りゅーとぴあ演劇スタジオ キッズ・コースAPRICOT
2021夏季公演「APRICOTの銀河鉄道の夜」
■7.31(土)8.1(日)各日12:30開演・16:30開演 ■劇場

こちらも見逃せない! 子どもから大人まで一緒に楽しめる演劇作品

注目の若手演劇人・藤田貴大による、全国各地で上演されている話題作がいよいよ新潟へ! 絵本のようなふしぎな世界をお楽しみください。

「めにみえない みにしたい」 ■8.18(水)11:30開演・15:00開演 ■劇場(舞台上特設ステージ)

ついにこの時が来た!
歴史に残る名演を目撃せよ!

昨年のベートーヴェン生誕250周年企画がここに復活します。ヴァイオリン界のカリスマ、神奈川フィルのソロ・コンサートマスター石田泰尚と若手実力派の津田裕也がヴァイオリン・ソナタ「全曲演奏」にたった1日で挑む驚異的な演奏会。その繊細で美しい音とアグレッシブな演奏スタイルに、耳も目も、そして、心までもわしづかみにされることでしょう。ライブならではの興奮をぜひ会場で体感してください!



石田泰尚(ヴァイオリン) 津田裕也(ピアノ)

石田泰尚×津田裕也 ベートーヴェン・ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会
■9.23(木・祝)13:00開演・17:00開演 ■コンサートホール

年末の風物詩?いや、秋にやってもいいじゃない。
国内最高峰の出演陣で贈る、究極の「第九」

今年の東響新潟定期では、2011年9月以来10年ぶりに「第九」をお届けします。指揮は、4月に東響正指揮者に就任し話題の原田慶太楼。ソリストには日本人声楽家の最高峰である小林沙羅、林美智子、西村梧、大西宇宙の4名が揃う豪華な顔ぶれ。こんなスーパープレイヤーが一堂に会する「第九」は、日本のプロオーケストラ公演を探してもそうはありません。人類の苦悩を吹き飛ばす壮大な「歓喜の歌」をぜひお聴きください。



原田慶太楼(指揮)

東京交響楽団 第122回新潟定期演奏会
■9.19(日)17:00開演 ■コンサートホール

千二百年の歴史が息づく、安らぎの響き。
仏教音楽「声明」~大般若転読会~

「声明」とは、仏教において教えを伝えるための音楽です。平安時代初期、弘法大師空海が伝えた真言密教の教えとともに、現在まで脈々と受け継がれてきた真言声明は、日本の伝統音楽とも言うべきものです。この演奏会では前半に声明について知る解説講義を行い、後半は真言宗僧侶13名による壮大な声明(大般若転読会)をお聴きいただけます。色とりどりの袈裟を纏った僧侶と、600巻の経典が宙を開き流れる「転読」、そして美しい声明の響きをお楽しみください。



悠久の響き「声明」~大般若転読会~
■10.2(土)15:00開演 ■コンサートホール

5年振りにウルバンスキが帰ってくる!
クラシック音楽の真髄を味わう「ブラームス」

2016年まで東響首席客演指揮者を務め、新潟定期にも出演したウルバンスキが登場。彼の音楽は、一度聴いたものを虜にして離さない魅力があります。今回の曲目はブラームス最後の交響曲である第4番。ブラームスの作曲技法のすべてが盛り込まれ、作曲家自身も「傑作」と語る交響曲を、ウルバンスキの指揮でお楽しみください。人気ピアニスト児玉麻里による、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第2番にも注目です。



クシユトフ・ウルバンスキ(指揮)

東京交響楽団 第123回新潟定期演奏会
■11.7(日)17:00開演 ■コンサートホール

遠藤麻理さんが能楽師に弟子入り?
楽しいトークで能の美のヒミツをご紹介します!

人気アナウンサーの遠藤麻理さんがお能でさらに美しくなるため、能楽師に弟子入り?「美と健康」をテーマに、現代生活にもいかせる能の技と精神のヒミツをお話と実演でご紹介します。講師は世阿弥の子孫でもある能楽師・山階彌右衛門さんです。お二人の楽しいトークで気軽に伝統文化の世界に触れてください。



山階彌右衛門 遠藤麻理

遠藤麻理の能楽入門「お能で美しく？」
■7.17(土)13:30開演 ■能楽堂

語り継ぐ、歌い継ぐ、踊り明かす。
ここに劇団四季のすべてがある

劇団四季の「舞台への祈り」を名曲にのせて贈る『劇団四季 The Bridge～歌の架け橋～』。華やかな新作ショウがあなたの街へやってきます。



撮影:荒井健

- 【予定ナンバー】※一部のみ。ナンバーは変更になる場合があります。
- ① 新しい世界 - ア ホール ニューワールド(『アラジン』より)
 - ② アンダー・ザ・シー(『リトルマーメイド』より)
 - ③ I Got Rhythm(『クレイジー・フォー・ユー』より)
 - ④ メモリー(『キャッツ』より)
 - ⑤ ワン(フィナーレ)(『コーラスライン』より)

『劇団四季 The Bridge～歌の架け橋～』
■8.17(火)18:30開演・8.18(水)13:30開演 ■新潟テルサ

新潟の伝統芸能として生まれ、湊町新潟の賑わいを
支えてきた古町芸妓の芸をご堪能ください

新潟の夜を彩り続け、湊町新潟の情緒と品格、歴史を感じさせる古町芸妓の芸。この磨きあげられた芸を古町芸妓総出演により、りゅーとびあの舞台にてご覧いただけます。郷土新潟が育んできた踊りと囃子の芸をどうぞお楽しみください。



第三十二回公演より「操三番唄」

第三十三回ふるまち新潟をどり
■9.19(日)12:00開演・15:30開演 ■劇場

「生き別れた親子の再会」という劇的な
能「百万」をテーマにお能の見どころを紹介します

多くの方に能楽に親しんでもらおうと、実演形式で楽しみ方をご紹介する能楽講座の第2回。今回は見どころ満載の大人気曲「百万」をテーマに能楽の世界をご案内します。ゲストは大河ドラマ「西郷どん」や「麒麟がくる」での出演も記憶に新しい、狂言師・野村万之丞さんをお招きします。



野村万之丞 能「百万」

能楽講座第2回「能楽師に聞く 能の楽しみ」～百万編～
■9.21(火)18:30開演 ■能楽堂

世界13カ国で絶賛を浴びた傑作が、岡本圭人・岡本健一の親子共演で日本初演!

「現代において、もっとも心躍る劇作家」と呼ばれ世界中から注目されているフランスの若手劇作家フロリアン・ゼレールの最新作『Le Fils 息子』日本初演が、新潟に登場です。2018年にパリで初演されフランス最高位の演劇賞・モリエール賞にて最優秀新人賞を受賞するなど高い評価を得て、世界13カ国で上演され絶賛された傑作です。演出は、フランスオリジナル版を演出し称賛されたラディスラス・ショラー。2020年読売演劇大賞優秀作品賞を受賞したシリーズ前作『Le Père 父』の演出に続き、深い洞察と緻密な演出で人間の本質を描きます。思春期に苦悩する息子役にはストレートプレイ初舞台となる岡本圭人。愛によって息子を救おうとする父親を、数々の演劇賞を受賞し高い実力が評価されている岡本健一が演じます。息子と父親が紡ぐ家族の物語をご期待ください。



作:フロリアン・ゼレール 翻訳:齋藤敦子
演出:ラディスラス・ショラー
出演:岡本圭人 若村麻由美 伊勢佳世 浜田信也 木山廉彬 岡本健一

『Le Fils(ル・フィス) 息子』 ■9.29(水)19:00開演・9.30(木)12:00開演 ■劇場

能楽堂で味わう、極彩色の秋。
秋の風物詩が織り込まれた彩り豊かな作品

萩の花見にやってきた遠国の大名が、生来の無骨者ゆえに滑稽な振る舞いを重ねてしまう狂言「萩大名」。田舎者と揶揄されながらも愛嬌ある大名を、人間国宝・山本東次郎が演じます。能「紅葉狩」は、鹿狩りの一行が山中で紅葉を愛でる女性たちに出会い酒宴に興じるという美しい情景はもちろんのこと、後に女たちが鬼神であることが判明し鬼退治に一変する劇的な展開も魅力的な能です。秋の風物詩が織り込まれた彩り豊かな作品を、能楽堂でご堪能ください。



秋の能楽鑑賞会(宝生流)
■10.9(土)13:30開演 ■能楽堂

能楽師と浪曲師の二つの聲と、
三味線と琵琶の音色で紡ぐ“語り”の世界

明治時代を代表する二人の文豪、夏目漱石と小泉八雲との奇妙な縁を、“能”と“怪談”をキーワードに読み解きます。二人がともに愛した“能”というフィルターを通すことで浮かび上がる数々の謎解きをお楽しみください。出演は能楽師・安田登、浪曲師・玉川奈々福、琵琶奏者・塩高和之。声と音色で怪異な文学の世界を綾なし、物語を情感豊かに立ち上がらせます。作品への理解を深める、聞き手・木ノ下裕一との、たっぷりトークタイムにも注目です。



撮影:川崎健吉

「能でよむ～漱石と八雲～」 観劇サポート(手話・ポータブル字幕機・鑑賞を補助する音声ガイド)付き上演
■10.24(日)14:00開演 ■劇場

新潟ゆかりのアーティスト総勢20名による
豪華なガラ・コンサート

新潟県文化振興財団では、日頃ホールまで足を運ぶことが困難な方にも身近に音楽を楽しんでもらえるように、平成29年度から県内の病院、特別支援学校、特別養護老人ホームなどに新潟ゆかりのアーティストが出向いて演奏を行っています。この「ふれあいホッとコンサート」に出演している、新潟ゆかりのアーティストたちによる豪華なガラ・コンサートを開催します。



(公財)新潟県文化振興財団 設立40周年記念事業
「ふれあいホッとコンサート」
■10.9(土)13:30開演 ■コンサートホール

生命の音 魂の躍動
いのちのリズムを、生で感じてください

『童』は、先の『鼓』との連作で、長年演奏を重ねてきた演目・演出を基調に、身体と太鼓の音のみのシンプルな表現の向こうに、日本そして佐渡を感じさせる作品です。太鼓の存在感を際立たせた『鼓』に対し、『童』では、より「打つ人」の側に焦点を当てた内容でお届けいたします。魂が動き出す、いのちのリズムを、生で感じてください。



写真:岡本隆史

創立40周年ツアー第三弾 鼓童ワン・アース・ツアー2021「童」
■12.16(木)19:00開演 ■新潟テルサ

演劇史に輝く太田省吾の名作を、南沢奈央・濱田龍臣というフレッシュなキャストで描く

30代にして市川猿之助との共同演出で『スーパー歌舞伎II』を手掛け、2021年にはPARCO劇場オープニングシリーズ『藪原検校』の演出に抜擢されるなど、大劇場での演出が続いている杉原邦生が南沢奈央、濱田龍臣という二人の俳優を迎えて名作戯曲に挑みます。『更地』は『水の駅』などの沈黙劇で演劇界に大きな足跡を残した太田省吾が1992年に発表した戯曲です。初老の夫婦がかつて自分たちの家が建っていた空き地を訪れ、夫婦の歴史をあれやこれやと回想しながら、「もう一回やり直してみよう」と今までのことをリセットし、「何もかも、無くしてみるんだよ」と。この「リセット」を「未来」への希望に向かう新たな物語として、若い二人の俳優に託して現代に再生する杉原版の『更地』をぜひご覧ください。

作:太田省吾 演出:杉原邦生 出演:南沢奈央 濱田龍臣(W主演)



©吉野洋三

南沢奈央×濱田龍臣 KUNIO10『更地』 ■10.30(土)15:00開演 ■劇場

偏愛、 Noism

ファンが「Noism愛」を語るコーナー。『月刊ウインド』編集部所属し、公演評も手掛ける久志田さんの、ちょっとうらやましい「偏愛ポイント」とは？

vol.06

久志田 渉さん

会社勤めをしながら新潟・市民映画館シネ・ウインドボランティアスタッフとしても活動。「舞踊家 井関佐和子を応援する会」発起人。「安吾の会」事務局長。

旅先で観るNoism、おすすめですよ！

新潟で観る、だけじゃない。
こんな楽しみ方もあるんです。

意味を考えず 舞台に集中

最初に観たのは2008年の『Nameless Hands 一人形の家』。シネ・ウインドの先輩に勧められて観たんですが、とにかく衝撃的でした。その後も作品を観続けて、そのうち一つの作品を複数回観るようになり、だんだんと自分の言葉で語れるようになりましたね。今はできるだけ意味を考えず、目を見開いて、舞台の細部までしっかり観るようにしています。だから観終わった後にはすごく疲れます(笑)。

月刊ウインドやSNSで公演評を書いています



「ラバヤデールー幻の国」トヘテルブルグにて



Noismを観に海外まで!

Noismを口実にした一人旅は、自分なりの偏愛ポイントかも。きっかけはシネ・ウインド代表の齋藤正行さんと行った、2017年の「マッチ売りの話」+『passacaglia』ルーマニア・シビウ公演(二人とも初海外)。その後一人でも、公演鑑賞がてら旅に出るようになりました。公演場所が変われば、劇場の雰囲気も観客の反応も全然違う。作品の印象も変わります。海外ではその違いをよりビビッドに感じられます。

体験してこそ分かる すごさ

観る側こそやってみなければ分からない、「市民のためのオープンクラス」に参加しました。軽々とやっているように見えて実は大変なんだろうとは思っていましたが、実際に踊ってみて、自分の運動不足を実感するとともに、「金森さんは鬼だな」と(笑)。でもその研ぎ澄まされた動きのなかに、舞踊家一人一人の個性が垣間見えるのがNoism作品の魅力なんですね。Noismにはとにかく長く続いてほしいし、あることが当たり前存在になってほしいです。



オープンクラスに3回参加しました!

取材・文:霜鳥 彩(ジョイフルタウン)

Next Performance

Noism0+Noism1+Noism2『春の祭典』

演出振付:金森 稔
7.2(金)-7.4(日) 劇場

>>> 詳しくはりゅーとびあカレンダーへ

旅先で観た /

Noism作品ベスト3

「海外でも国内でも、旅先では作品の見え方がガラリと変わります。ルーマニア公演は自分が海外まで応援に行くきっかけになったという点でとても思い出深いです」

1位 Noism劇的舞踊「カルメン」
ロシア・モスクワ公演
(2019年)



「絶賛ぶりが伝わる、熱のこもった拍手と歓声が忘れられない!」

2位 Noism0「still/speed/silence」
シアター・オリンピクス公演
(2019年)



「富士県利賀村のあの環境でしか観られない舞台。ラストが圧巻」

3位 Noism1「マッチ売りの話」+
「passacaglia」
ルーマニア・シビウ公演(2017年)



「演劇祭に対する熱さが印象的。作品冒頭の風の音に新潟を感じた」

りゅーとびあ等をご利用いただく公演、 県内の公立文化施設の自主事業をご紹介します!

各公演記載のマークは下記のとおりです。

チケット取扱: [A]りゅーとびあ2Fインフォメーション [B]新潟県民会館 [C]新潟伊勢丹 [D]ヤマハミュージックリテイリング新潟 [E]コンチェルト [F]インフォメーションセンター えん(新潟日報メディアシップ1階)

本ページはりゅーとびあ利用団体等の広告ページです。広告のお問い合わせはりゅーとびあ広報営業課まで ▶ info@ryutopia.or.jp

7/11(日) リリック子ども音楽館 東京フィルわくわくコンサート2021

3歳からおとなまで気軽に楽しめるクラシックコンサートです。思わずからだがいちゃうちょうリズムによって家族みんなで楽しもう!

7月11日(日) 11:00開演
長岡リリックホール コンサートホール
全席指定 ¥1,500 ※3歳から入場できます。

■出演:岸本祐有乃(指揮)
塚本江里子(うた・司会)
東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

チケット取扱:長岡リリックホール、長岡市立劇場
※インターネットからでも予約できます。

Program
「天国と地獄」より「カンカン」
木星(ジュピター)、幸せなら手をたたこう
日本の童謡メドレー ほか



主催・お問い合わせ (公財)長岡市芸術文化振興財団/TEL 0258-29-7715

8/1(日) TOKI弦楽四重奏団2021 “祈りそして復活”音楽は世界を駆けめぐり 人々の心の架け橋となる

8月1日(日) 14:00開演
新潟市音楽文化会館
全席自由 ¥3,500 学生 ¥1,500(要学生証)
※未就学児入場不可

■出演:岩谷祐之(ヴァイオリン)
平山真紀子(ヴァイオリン)
鈴木康浩(ヴィオラ)
上森祥平(チェロ)
島田 玲(ゲスト・ヴィオラ)

チケット取扱:新潟市音楽文化会館 ほか
Program
ヘンデル(ハルツォルセン編)/パッサカリア短調 HWV432
レフラー/単一楽章による弦楽五重奏曲
ヤナーチェク/弦楽四重奏曲 第1番 小短調「クロイツェルソナタ」
ドヴォルザーク/弦楽五重奏曲 第3番 変ホ長調 作品97 ほか



主催・お問い合わせ TOKI弦楽四重奏団 実行委員会/TEL 025-222-0707

8/6(金) ソプラノ柳本幸子リサイタル★ withピアニスト石井朋子 イタリア古典アリアvol.3

写真家 渡部佳則の世界と共に～聖夜の記憶～
珠玉のイタリア古典アリアの世界2公演36曲

8月6日(金)
■昼公演 14:00開演
■夜公演 18:30開演

りゅーとびあ スタジオA
昼・夜 各¥4,000(当日¥4,500)
全日2公演¥5,000(当日¥5,500)
学生(小中高大) ¥1,000

チケット取扱:[A][E]
※昼・夜公演の演奏曲は別プログラム▶



主催・お問い合わせ イシス・シリーズの会/TEL 025-201-9063

10/17(日) 笠原けい子・神田幸子 ジョイントリサイタル “花と愛”をテーマに2人のソプラノによる優雅な歌のひとつときを

10月17日(日) 14:00開演
りゅーとびあ スタジオA
全席自由 一般 ¥2,500
(当日¥500増)
中学生以下 ¥1,000

チケット取扱:[A][C][E][F] ほか
Program
瀧廉太郎/花
山田耕筰/ポストマニ 芥子粒夫人
ドリーブ/オペラ「ラクメ」より「花のデュエット」
ブッチェーニ/オペラ「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」
レオンカヴァッロ/マッティナータ
バーンスタイン/
オペラ「キャンディード」より「きらびやかに着飾って」ほか



主催・お問い合わせ 笠原けい子・神田幸子ジョイントリサイタル実行委員会/TEL 090-6275-7551

10/30(土) クリスチャン・ツイメルマン ピアノ・リサイタル

現代最高と評される世界的ピアニストがアルフォーレへ3度目の登場。世界で3本の指に入ると絶賛したホールで奏でる極上の響きをご堪能ください。

10月30日(土) 17:00開演
柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール
全席指定 S ¥7,000 A ¥5,500

※大学生以下各2,000円引き(アルフォーレのみ取り扱い)
※未就学児入場不可

今後の感染状況により、公演が変更(中止・延期)になる場合がございます。最新情報はアルフォーレのHPをご覧ください。直接お問い合わせください。



主催・お問い合わせ 柏崎市文化会館アルフォーレ/TEL 0257-21-0010

Information

りゅーとびあの小さな美術館 INFO BOX

入場無料
当館6F展望ラウンジで公開中

りゅーとびあの宝物を集めた展示スペース「INFO BOX」。NoismやAPRICOTの公演で使った小道具をはじめ、能楽体験で使用される紙の能面、パイプオルガンのパイプなど、ここでしか見ることのできない秘蔵の品々約30点をご覧ください。



私たちはNoismの活動を応援しています



活動支援のお願い

Noismではレジデンシャル活動を支援して下さる企業・個人スポンサーを募集しております。詳しくは<https://noism.jp/support/>

金森 穰 紫綬褒章 受章

Jo KANAMORI
reception of
Medal with Purple Ribbon



りゅーとぴあの舞踊部門芸術監督であり、Noism Company Niigataを率いる金森穰が、令和3年春の褒章において紫綬褒章を受章しました。
2004年にりゅーとぴあ専属の舞踊団Noismを立ち上げて以来、数々の舞台を創作し、世界11カ国22都市で披露してきた金森。今回の受章について「17年間信じてきた道が間違っていなかったと言われた気がした」と語っています。

舞踊家の父の下に生まれ育ち、気付いたら踊っていたという金森にとって、「舞踊とは、なぜ自分が生まれてきたか、人間とは何かを探し求める旅」なのだといいます。身体ひとつで表現する舞踊は人間の根源に触れる芸術。生涯をかけて踊るという金森の探求は、これからも続いていくことでしょう。

新型コロナ禍で舞台芸術の在り方が問われています。Noismも昨年は海外公演ができず、国内では観客数を減らして、それでも踊り続けてきました。閉塞感が漂う今だからこそ芸術は社会に有用である。そう信じて、これからも歩んでいきます。これまで支えてくださった新潟の皆さま、引き続き応援よろしくをお願いします!

金森 穰 Jo KANAMORI

17歳で単身渡欧、モリス・ベジャール等に師事。オランダのNDT2在籍中に20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で活躍後帰国。04年、りゅーとぴあ舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団Noismを立ち上げる。

Noism Website
www.noism.jp ▶



りゅーとぴあ専属オルガニスト・石丸由佳の オルガン武者修行!

初の留学先デンマークで、街を歩けば自転車に煽られ、電車に乗ればカバンを忘れ、海外生活の洗礼を受ける石丸さん。今度は礼拝堂で恐ろしい体験が待っていました。
文・写真提供:石丸由佳



profile オフィシャルウェブ ▶
石丸由佳 ISHIMARU Yuka



新潟市生まれ。りゅーとぴあで初めてパイオルガンに触れたことがきっかけでプロの道へ。10カ国100か所以上でのコンサートを経て、今に至る。

▼コペンハーゲンに住んでいた学生寮。古い修道院を改装した、趣のある建物でした。



▶ヨーロッパのオルガン科の学生は各々がいくつかの教会から鍵を借りていて、練習させてもらいます。私もいつも鍵束を持ち歩いています。

真夜中の礼拝堂で恐怖体験…!

コペンハーゲンで私が住んでいた学生寮は、隣にオルガン付の礼拝堂があったため夜中によく練習させてもらっていました。ある日みんなが寝静まった頃、練習を終え礼拝堂の共用トイレに寄ってボタンとドアを閉めると、内側の取手がない! ドアは開かなくなってしまいました。何をやっても開かない! 鍵穴から必死に外の様子を伺っていると、女の子が一人通過! “Hello…”とつぶやいたものの、彼女は不気味な空耳を聞いてしまったかのような顔をしてそそくさと立ち去ってしまいました。諦めて力尽きていたら、一人の男子が通りがかり、祈るような気持ちで必死に声を出すと、彼は床に落ちていた取手を拾ってドアに差し込み開けてくれました。お互い苦笑い。助かった…! ヨーロッパでは、普通に生活するだけでも一苦勞。私にとっては暗闇の礼拝堂での練習よりも、日常生活での恐怖体験の方がたくさんありました。

それゆけ園芸部!

~りゅーとぴあの庭へようこそ~

屋上庭園や中庭などの花や木々を見守り、お世話している「りゅーとぴあ園芸部」。今年の春は5F能楽堂の中庭(竹林)に大きなタケノコが生えてくるなど、さまざまな出来事が起こりました。



1.能楽堂の中庭(竹林)。りゅーとぴあオープン以来初めて竹を数本移植した。2.新たに植えた竹からタケノコが生えてきた。このまま大きく竹に育てていく。3.元気がない石庭の苔だが、スプリンクラーの散水でどれくらいイキイキするか注目!



施設・利用課 / Sさん
園芸部リーダー。趣味の庭いじりを業務にいかして活躍中。出勤日はほぼ屋上庭園に上がる。育てた花にSNSでたくさん「いいね!」が付くことが何よりの励み。

能楽堂のタケノコには驚きましたが、石庭の“苔”にもハブニングが。苔は根っこがなく表面から水を吸収するので、地中の灌水設備だけでは水やりが行き届かず元気がなくなってしまったんです。そこで今年はスプリンクラーを設置し、湿度のキープを心掛けています!

屋上庭園で咲き誇る花々

ひと回り成長したパンジー

冬は雪の下で埋もれていたパンジーは、その間ひと回り大きく成長して春に花咲く。逞しさに驚くばかり。



すべての花が見どころです

夏~秋の季節が屋上庭園の一番の見頃。さまざまな種類が次々に開花する様子を見に来てください!



PICK UP!

フラワーサークル。約250か所に30種類以上が植えられ、その数年々増加中!

YouTube

YouTubeで

りゅーとぴあ スタンディングオベーション

はじめます!

りゅーとぴあ公式YouTubeチャンネルで、新たな番組「りゅーとぴあ スタンディングオベーション」がスタートします! 声の出演にフリーアナウンサーの佐藤智香子さんを迎え、3人のキャラクターが寄ってたかって舞台芸術の魅力をご紹介します。市民の皆さんがワクワクするような(そしてちょっと役立つ)動画をアップしていきますので、ぜひご覧ください!



りゅーとぴあ公式
YouTubeチャンネル



オセツ貝

芸術文化のアレがいいコレがいいと勝手に勧めてくる、気は良いけれどちょっと迷惑な人。温厚でおっとりしているが、スイッチが入るとおしゃべりが止まらなくなる。



ちかこ 声/佐藤智香子

当番組ナビゲーターで芸術文化の初心者。ともすれば難しいアートのお話を、誰もが分かりやすいように届けるのがモットー。イケメンが弱点で、出ると無口になる?



シランケド

年齢性別不詳、すべてが謎のキャラクター。紙袋の中は空っぽで、特に何も考えていない模様。アートに関心ある? ううん全然、興味なんて少しもないね。知らんけど。

PICK UP!

番組名の由来

2020年惜しまれつつ閉局したFM PORTで放送していた、りゅーとぴあの番組名から。

※イラストは開発中のものです。